

【白糠】道立白糠高で9日、道立高校では珍しい給食の無償提供が始まった。学校の魅力向上と保護者の負担軽減が狙いで、費用は町が負担する。

同校での給食提供自体が初めてで、町が関連経費約400万円を本年度予算に計上した。町内の小中学校の給食は既に無償化している。

道教委が把握している範囲では、2020年度に給食を提供した道内公立高校は12校。このうち無償提供は十勝管内足寄高のみで、釧根管内では初めて。

白糠高で無償提供始まる

高校生「給食懐かしい」

9日は全校生徒68人中、希望する45人に提供した。生徒たちは給食室に集まると、手際よく配膳を済ませ、ビビンバ丼、わかめスープ、三色サラダの3品を味わった。町学校給食センターの担当者は「高校生にも給食が浸透してほしい」と期待する。

これまで昼食は弁当だったという白糠高2年の石井寿鶴さん(16)は「無料なので親も喜んでいます。給食は懐かしいし、おいしいですね」と話していた。

（今井裕紀）

給食を味わう白糠高の生徒たち

